

## 第5回区政モニターアンケート

### 「ごみのポイ捨てについて」

調査目的	ごみのポイ捨て問題について、区民がどのように考えているか把握し、今後の取り組みの参考とすることを目的として、調査を行いました。
調査方法	調査票、回答とも郵送
実施時期	平成7年12月
送付数	50人
回収数	50人
回収率	100%

## 要 旨

足立区のまちを見て、まちがごみなどで汚れていると感じたことがあるか聞いたところ、全員が『感じる（「いつも感じる」＋「たまに感じる」）』と答えている。

どのような場所が汚れていると感じるかは、「空き地」が最も多く70.0%、以下、「道路」が68.0%、「公園」と「駅前周辺」が52.0%等であった。

また、まちでごみのポイ捨てをしている人を見たことがあるかは、『見かける（「よく見かける」＋「たまに見かける」）』が86.0%と高率だった。

前問で、「よく見かける」と「たまに見かける」と答えた人に、ごみのポイ捨てをしている人は、どの年代が特に多いかは、「年代に限らない」が最も多く、41.9%だった。また、主にどのようなものを捨てているか聞いたところ、「たばこの吸い殻」が79.1%と最も多く、「空き缶・紙コップ」が60.5%、「紙くずなどの小さなごみ」が34.9%等であった。

ごみのポイ捨てをする人がいるのはなぜだと思うか聞いたところ、「マナーやモラルが低く、罪悪感がないから」が84.0%、以下、「他のごみが捨てられているから」が44.0%、「誰かが清掃してくれると思うから」が30.0%等だった。

ごみのポイ捨てをしている人を見たら、その人に注意するかは、「その時の状況によろと思う」が最も多く、62.0%だった。以下、「注意しないと思う」が34.0%、「その他」と「注意すると思う」は2.0%だけだった。

ごみのポイ捨てを注意しないと思う理由は、「危害を受ける恐れがあるから」が、67.3%、「注意しても聞いてもらえないと思うから」が42.9%、「個人の問題だから」が24.5%等であった。

町会・自治会などの地域の美化活動に参加したことがあるか聞いたところ、『参加している（「いつも参加している」＋「何度か参加している」）』が半数以上の58.0%となっている。これを年代別で見ると、40歳未満が37.5%に対して、40歳以上では67.6%となっており、40歳以上の参加率が高かった。

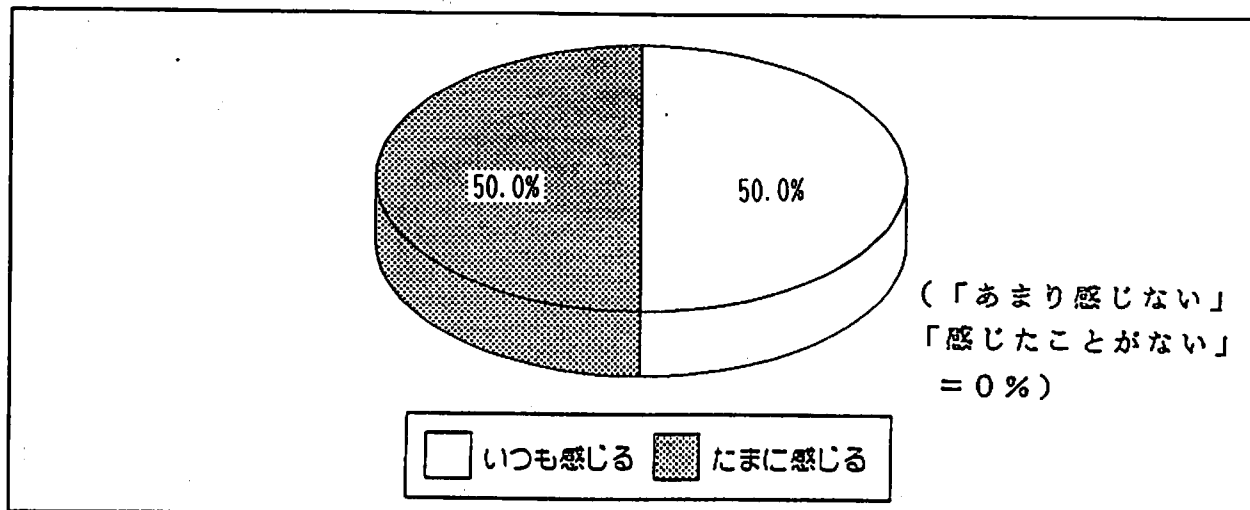
今後、地域における清掃などの美化活動があれば参加してみたいと思うか聞いたところ、「参加したい」という積極派は、64.0%だった。また、「参加したいが、忙しいので参加できない」と答えた人は20.0%であった。「参加したい」と答えた人は、40歳未満が37.5%、40歳以上では76.5%で40歳以上の方が参加意向が多かった。

ごみのポイ捨てなどをなくすために、何が重要であると思うかは、「学校や家庭でマナーやモラルの大切さを教える」が最も多く、54.0%だった。以下、「自分達のまちをきれいにするという意識を育てる」が48.0%、「ごみのポイ捨て条例を作る」が42.0%等であった。

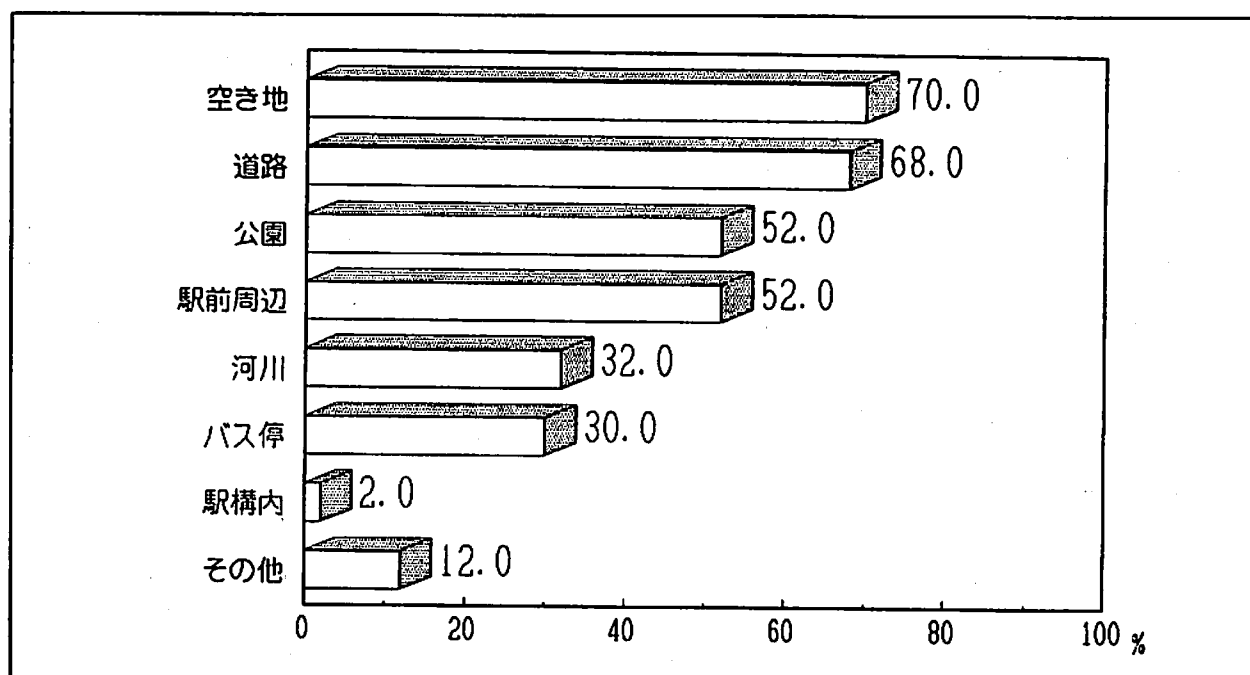
区では地域の活動に対して、手袋やごみ袋などの活動費用の一部を援助しているがこれらの助成金のあり方について、どのように感じるかは、「今のままでよい」が最も多く、54.0%だった。反対に、「助成金は必要ない」は22.0%、「もっと助成すべきである」は10.0%だった。

ごみのポイ捨てなどマナーを守らない人に対して、防止条例をつくり、空き缶のポイ捨てを防止していく方法について、どのように思うか聞いたところ、「条例をつかったほうがよい」と答えた人は72.0%にも上った。また、条例をつかったほうがよい理由は、「条例をつくることにより、区民の美化意識を高められると思う」が、77.8%を占めている。反対に「条例をつくらないほうがよい」を選んだ人にその理由を聞いたところ、「ごみのポイ捨てなどは一人ひとりのマナーやモラルの問題であり、法や規則などの規制で解決するものではないと思う」が90.9%だった。

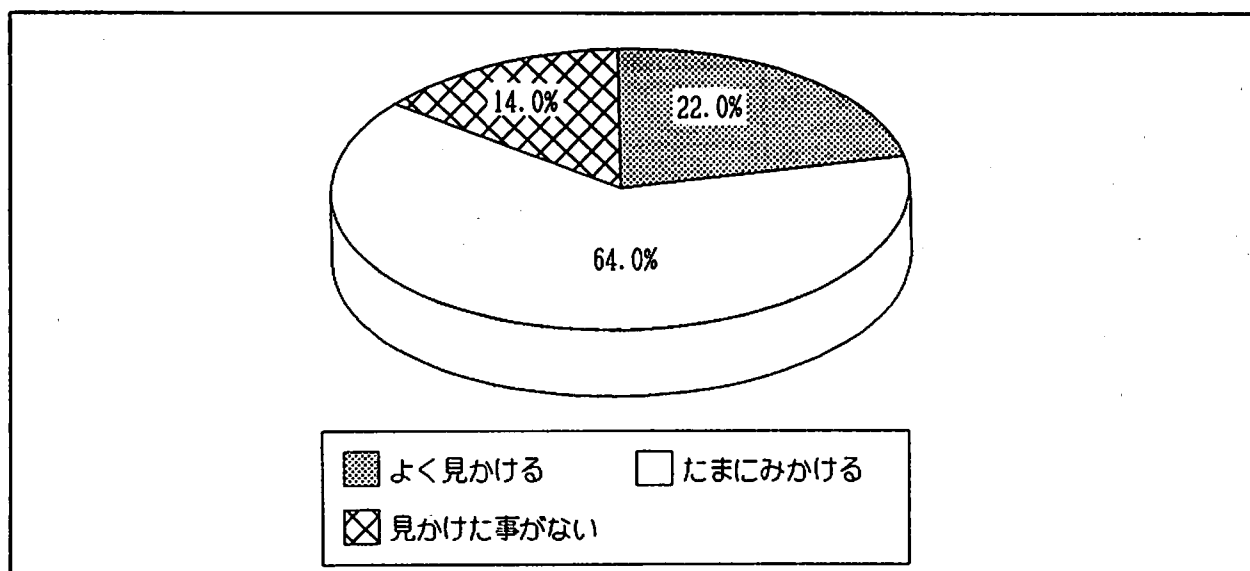
1. 足立区のまちを見て、まちがごみなどで汚れていると感じたことがあるか



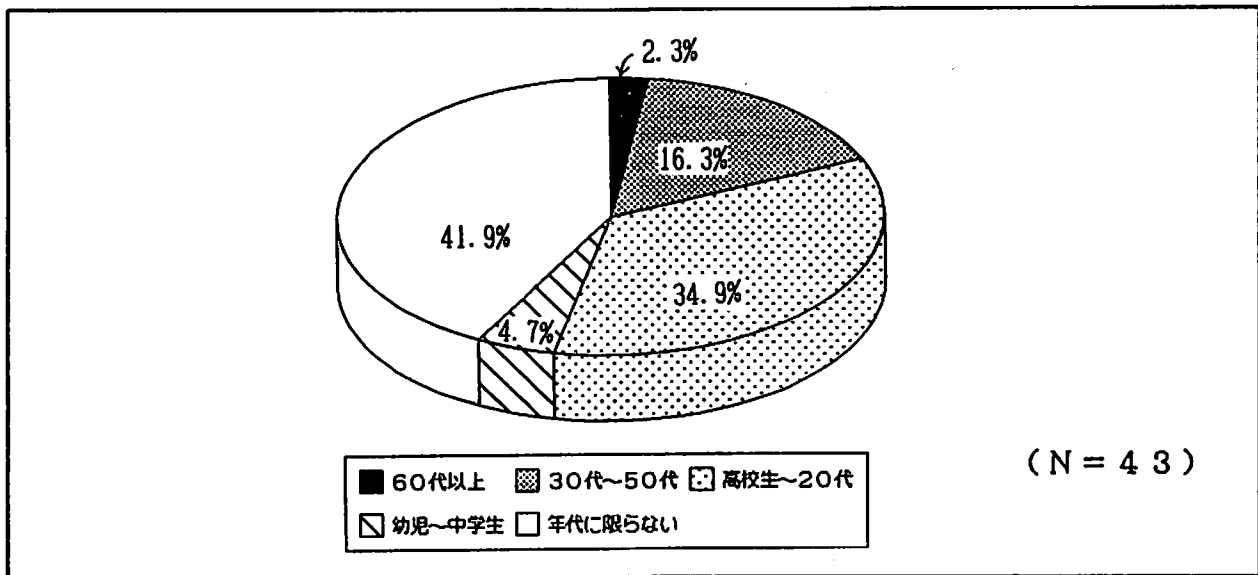
1-1. どのような場所が汚れていると感じるか



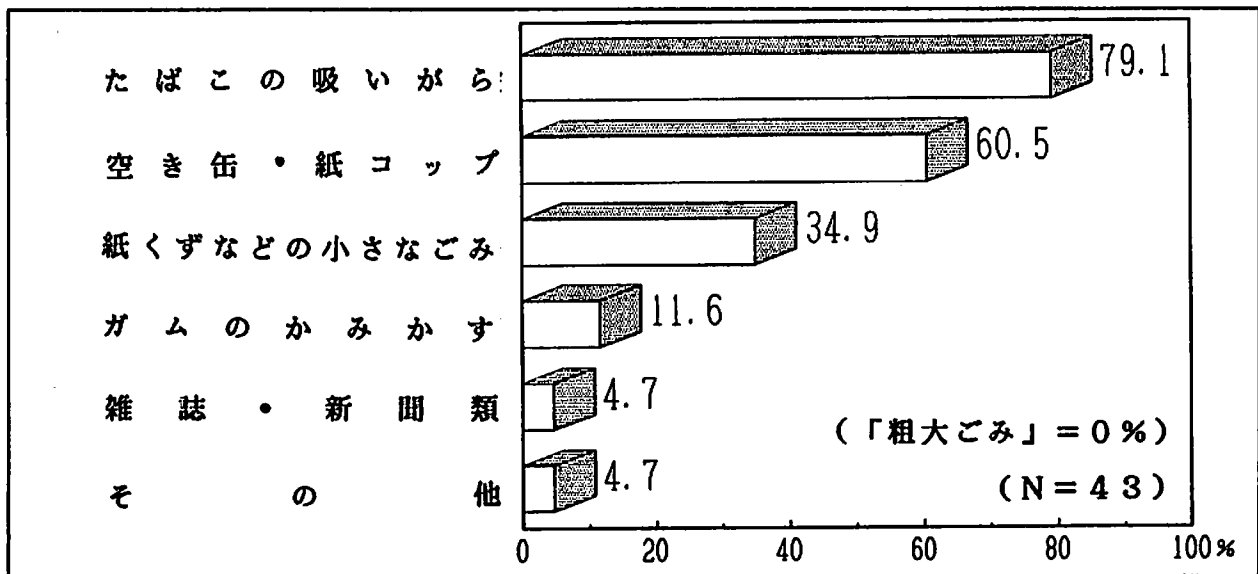
2. まちでごみのポイ捨てをしている人を見たことがあるか



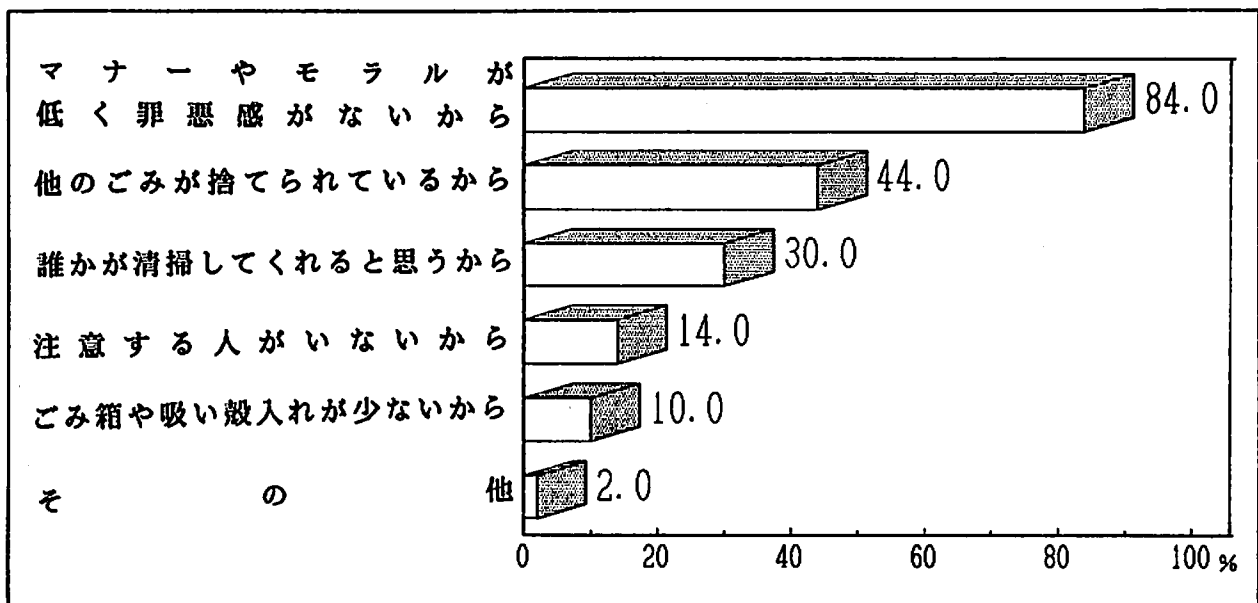
2-1. ごみのポイ捨てをしている人は、どの年代が特に多いか



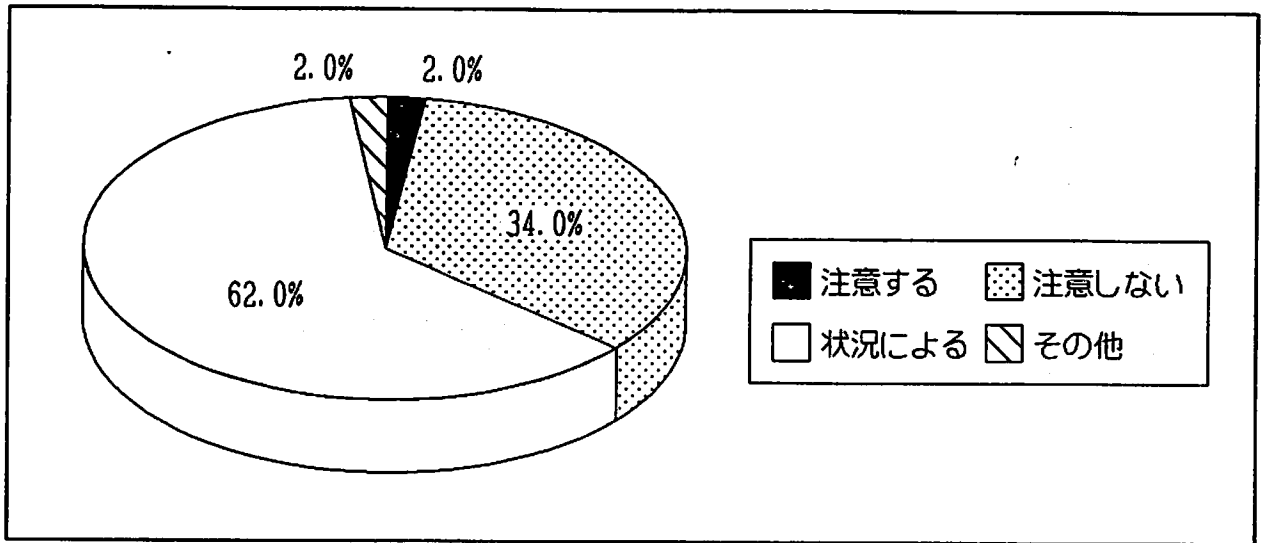
2-2. ごみのポイ捨てをしている人は主にどのようなものを捨てているか



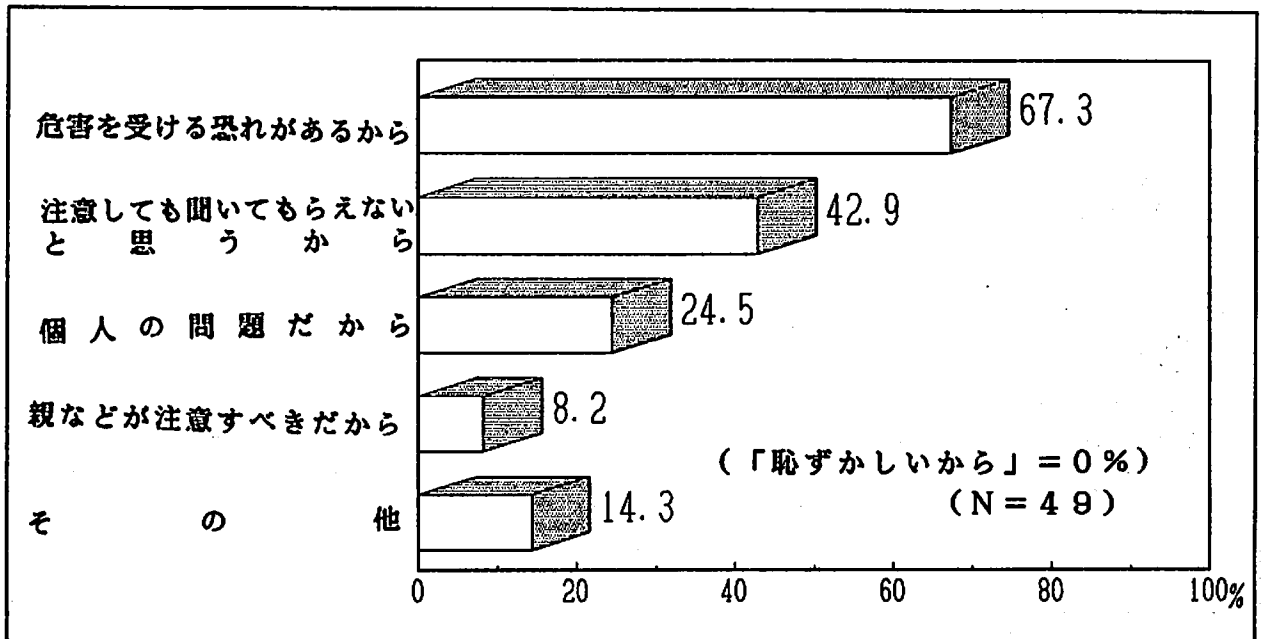
3. ごみのポイ捨てをする人がいるのはなぜだと思うか



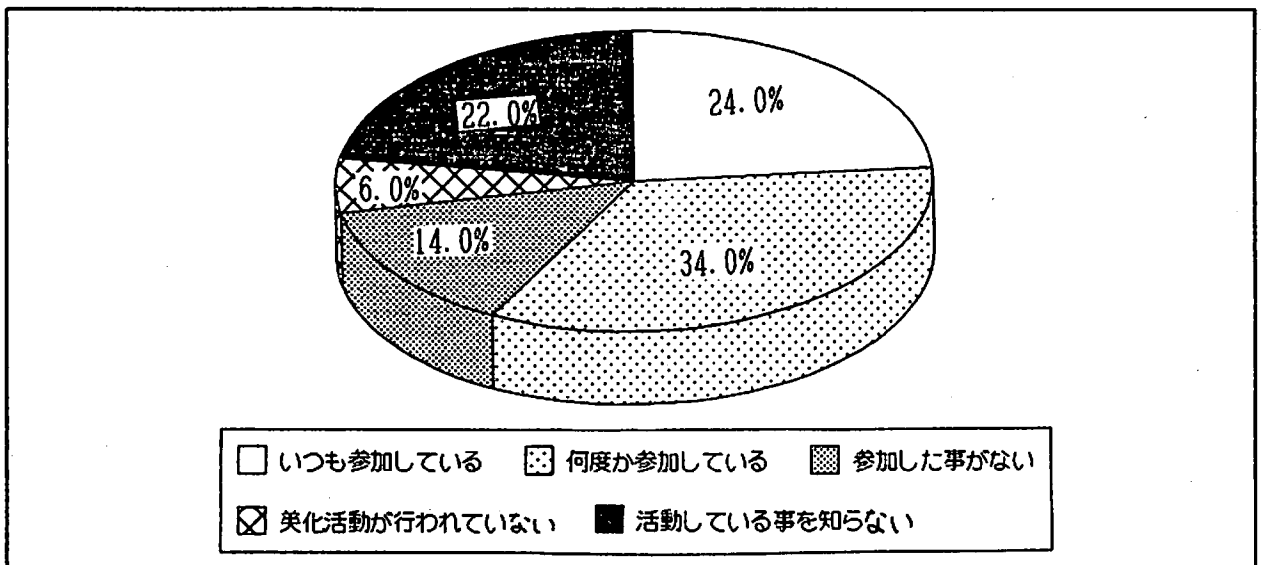
4. ごみのポイ捨てをしている人を見たら、その人に注意するか



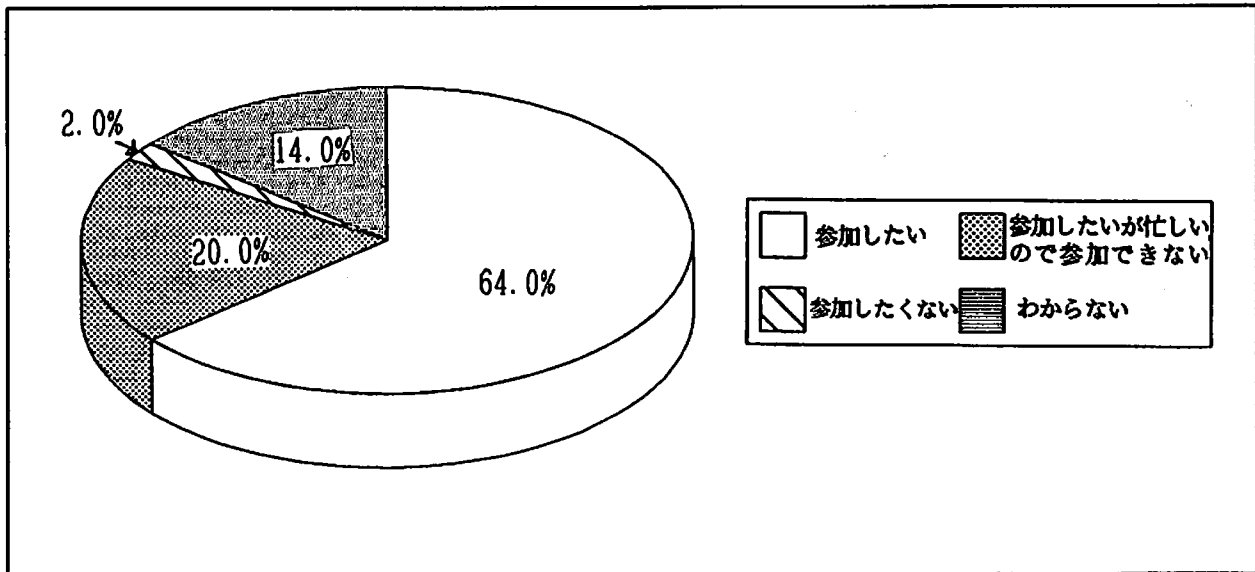
4-1. 注意しないと思うのはなぜか



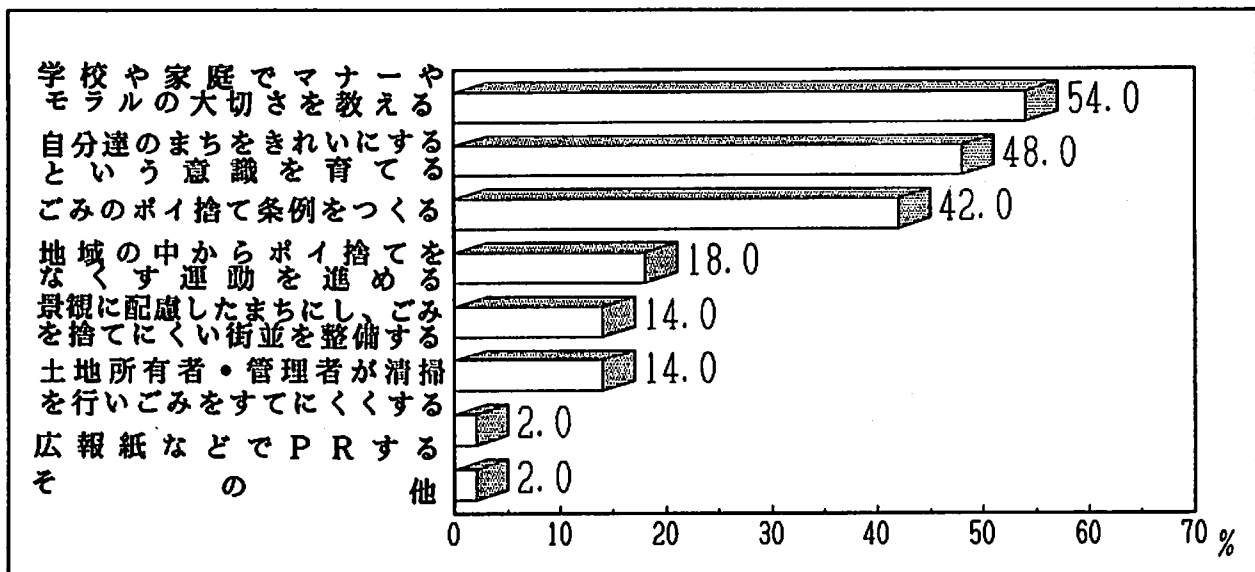
5. 町会・自治会などの地域の美化活動に参加したことがあるか



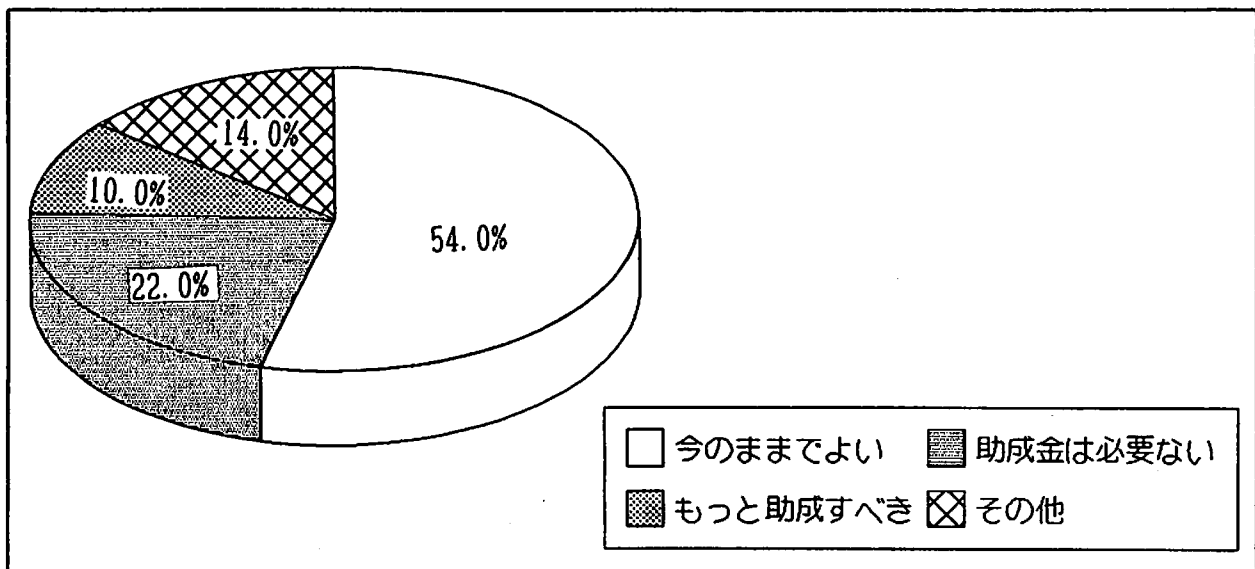
6. 今後、地域における清掃などの美化活動があれば参加してみたいと思うか



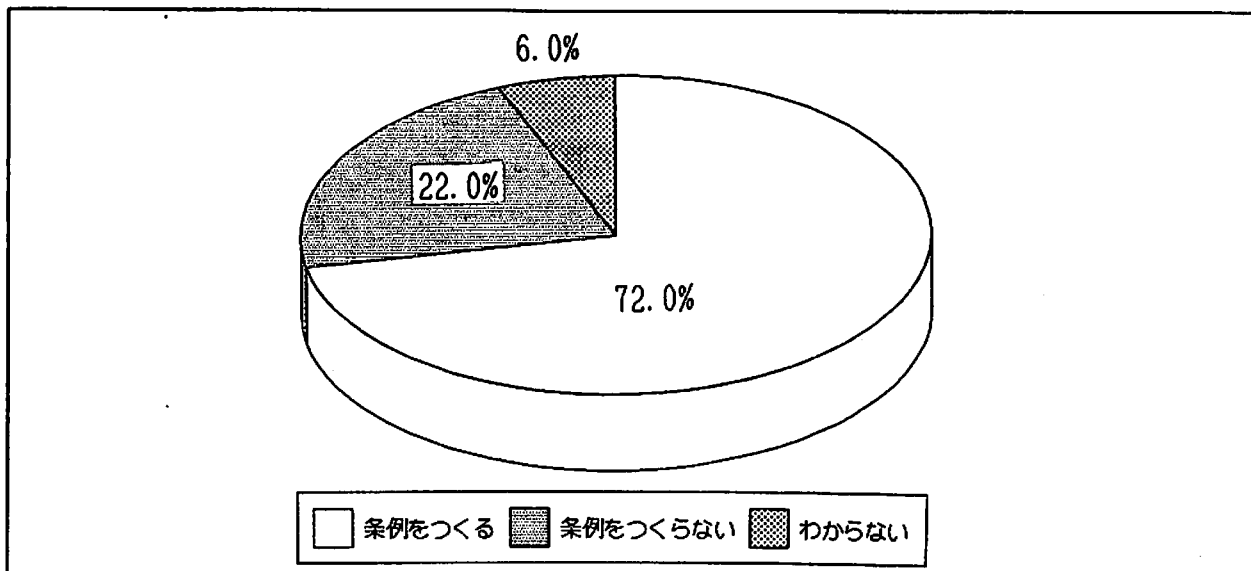
7. ごみのポイ捨てなどをなくすために、何が重要であると思うか



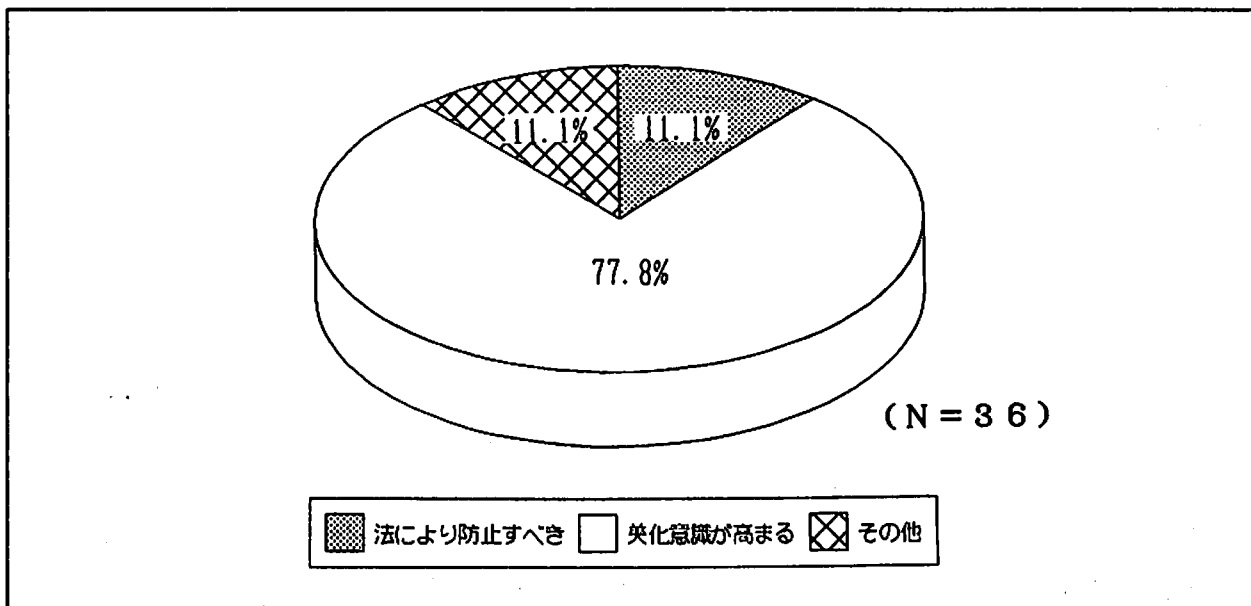
8. 区では地域の活動に対して、手袋やごみ袋などの活動費用の一部を援助しているが、これらの助成金のあり方について、どのように感じるか



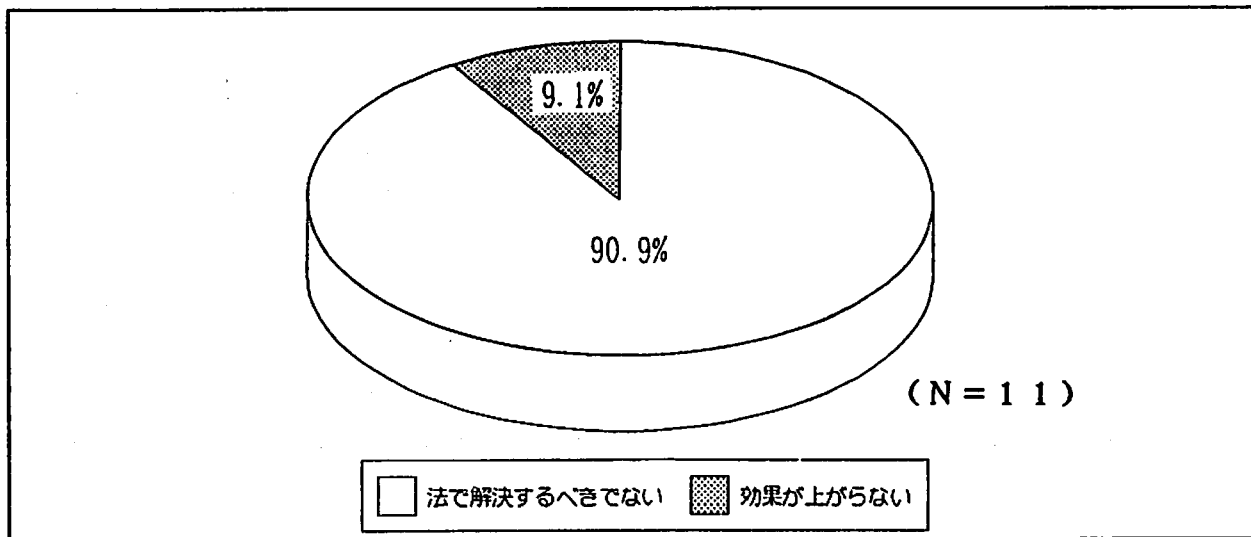
9. ごみのポイ捨てなどマナーを守らない人に対して防止条例をつくり、空き缶等のポイ捨てを防止していく方法について、どのように思うか



9-1. 条例をつくった方がよいその理由は何か



9-2. 条例をつくらない方がよいその理由は何か





## 10. ごみのポイ捨てについての意見・要望【自由回答】（主な意見の要旨）

- 月に一度、綾瀬の駅前を商店街のみんなが参加して、清掃していますが、いつも感じる事は西口のバスターミナルのたばこの吸殻です。バス停に並んでいる多くの人は社会人だ思われますが、なんて常識のない人達なのだろうと思います。以前、シンガポールに旅行に行きましたが、さすがに条例があるだけあってとてもきれいでした。  
(20代 女性)
- オウム事件があってから、駅などにごみ箱が少なくなり、たいへん不便だと思う。子供には、ごみは家へ持ち帰るよう言っているが、もっとごみ箱があれば・・・と思う事も多い。ぼい捨ては基本的には個人のモラルの問題なので条例などでしぼるのは筋違いのように思うが、ごみを捨てにくい町づくりは是非していくべきだ。  
(30代 女性)
- 区と地域が協力して、ポイ捨てを無くすよう運動すると同時に、テレビ番組のまんがの主人公をモデルにしたごみ箱を主要な場所に設置して、子供たちにもポイ捨て禁止の意識を高めるようにする。中高生のビン・カン・タバコの処置が目にあまる。学校近辺は特に先生の指導、PTAの交流を通じて本格的に話を進めなければ、将来、いじめの問題よりも始末が悪くなる事を痛感する。  
(50代 男性)
- ごみのポイ捨ては、子供なら、親がごみを持ち帰るということなど、努力している姿を何回も見せないとその意識が作られてこないと思います。空き缶ボックスで何点か点数がたまると図書券と交換できる等、メリットがある方法も良いと思います。いくら規則を作っても、それをきちんと守れる人が何人いるのでしょうか。ごみ袋と同様、それ以上に反感をかうのではないかと、不安があります。  
(30代 女性)
- ごみ等による公害の果ては、火災の危険以上に非衛生から来る疾病の悲劇が懸念されます。これらを防止するために、後手にならぬよう、早急に防止条例を作られるよう切望します。足立区は「きれいな町」「病気の少ない区」になろう。  
(60代 男性)
- 「防止条例の制定」・・・罰則によって抑制力を強める。「道徳を教える」・・・道徳が守られていない現状にある。学校、職場、家庭等で正しく教えるべきであると思う。「広報設備の活用」・・・行政機関の広報車、駅、商店街等の広報設備を活用し、週に1回、曜日を決めて「ぼい捨て」防止の協力を呼びかける。  
(70代 男性)
- ごみのポイ捨てについては、学校や家庭でマナーやモラルの大切さを教え、モラルをより高めることにより、ごみのポイ捨てがなくなることが望ましい。しかし、道路などのごみの現状をみると、それだけできれいになるとは思えない。シンガポールのように、法令でポイ捨てを禁止し、違反者には罰則を適用するなどにより、まず、町をきれいな状態にすることが重要である。条例による防止と併せて、モラルを高める教育や地域の美化活動等の充実により、きれいな町を維持して行けるのではないかと思います。  
(50代 男性)

- 子供の通学している小学校では、PTA行事で竹の塚駅周辺、学校周辺のクリーン作戦が行われます。竹の塚駅周辺のごみで一番多かったのが、たばこの吸いがらでした。その量は想像以上のもので、火がついたままのものもありました。雑誌類等、そのごみの量と、日本人のモラルの無さには、驚くばかりでした。反省会でも色々な意見がでましたが、区の広報等でマナーやモラルの大切さを教えて頂きたい。せっかく「足立区の区政」がすばらしいのに駅前が汚いのは残念です。 (40代 女性)
- 最近できたばかりの道路の中央分離帯(植木があり芝を植えた素敵なところ)に数カ月で、空き缶、弁当の食べ残し等を入れたスーパーの袋が捨てられ、何度清掃してもきれいにならないのです。情けないですが、ポイ捨てをしている人を見ても注意などできないので、条例で決めてしまった方が良いでしょう。それが習慣になったら条例を廃止すればよい。 (30代 女性)
- 私は、子供との散歩にベルmont公園を利用していますが、この公園は、ごみ箱もいつも清潔で、また、公園内も他の公園に比べ、ごみが少ないのです。公園を清掃している人達の姿を目の当たりにしているので、「きれいな公園をごみで汚せない」という意識が私達に強く働いていると思います。ごみのポイ捨ては確かに各自のモラルの問題かもしれませんが、各自の基準も違うので条例をつくることも良いと思います。ごみの問題は意識の問題だと思うので、「ごみのポイ捨ては悪い事」ということだけでなく、美化意識を高めれば、おのずとごみは減るのではないのでしょうか。河川(土手等)の美化運動を区民に呼びかけ、定期的に活動するのはどうでしょうか。足立区が23区内で一番きれいな町になることを望んでいます。 (20代 女性)

# 平成7年度第5回区政モニターアンケート

## 《ごみのポイ捨てについて》

氏名

---

問1. 足立区のまちを見て、まちがごみなどで汚れていると感じたことがありますか。(1つだけ)

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. いつも感じる(問1-1へ) | 3. あまり感じない(問2へ)  |
| 2. たまに感じる(問1-1へ) | 4. 感じたことがない(問2へ) |

問1-1. 問1の解答欄で「1. いつも感じる」「2. たまに感じる」と選んだ人にお聞きします。

どのような場所が汚れていると感じますか。(いくつでも)

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. 駅前周辺 | 5. 公園     |
| 2. バス停  | 6. 河川     |
| 3. 駅構内  | 7. 空き地    |
| 4. 道路   | 8. その他( ) |

問2. あなたは、まちでごみのポイ捨てをしている人を見たことがありますか。(1つだけ)

1. よく見かける(問2-1へ)
2. たまに見かける(問2-1へ)
3. 見かけたことがない(問3へ)

問2-1. 問2の解答欄で「1. よく見かける」「2. たまに見かける」と選んだ人にお聞きします。

ごみのポイ捨てをしている人は、どの年代が特に多いですか。(1つだけ)

1. 60代以上
2. 30代~50代
3. 高校生~20代
4. 幼児~中学生
5. 年代に限らない

問2-2. 問2の解答欄で「1. いつも見かける」「2. たまに見かける」と選んだ人にお聞きします。

ごみのポイ捨てをしている人は、主にどのようなものを捨てていますか。(2つ以内)

- |                |             |
|----------------|-------------|
| 1. たばこの吸い殻     | 5. 空き缶、紙コップ |
| 2. 紙くずなどの小さなごみ | 6. 粗大ごみ     |
| 3. ガムのかみかす     | 7. その他( )   |
| 4. 雑誌、新聞類      |             |

問3. ごみのポイ捨てをする人がいるのはなぜだと思いますか。(2つ以内)

1. ごみ箱や吸い殻入れが少ないから
2. 他のごみが捨てられているから
3. マナーやモラルが低く罪悪感がないから
4. 注意する人がいないから
5. 誰かが清掃してくれるからと思うから
6. その他 ( )

問4. あなたは、ポイ捨てをしている人を見たら、その人に注意をしますか。(1つだけ)

1. 注意すると思う
2. 注意しないと思う(問4-1へ)
3. その時の状況によると思う(問4-1へ)
4. その他 ( )

問4-1. 問4の解答欄で「2. 注意しないと思う」「3. その時の状況によると思う」と選んだ人にお聞きします。注意しないと思うのはなぜですか。(2つ以内)

1. 注意しても聞いてもらえないと思うから
2. 危害を受ける恐れがあるから
3. 恥ずかしいから
4. 親などが注意すべきだと思うから
5. 個人の問題だから
6. その他 ( )

問5. 区内の多くの町会・自治会などで、地域の清掃などの美化活動に取り組んでいます。

あなたは、そうした地域における美化活動に参加したことがありますか。(1つだけ)

1. いつも参加している
2. 何度か参加したことがある
3. 参加したことがない
4. 地域で美化活動が行われていない
5. 活動していることを知らない

問6. 今後、地域における清掃などの美化活動があれば参加してみたいと思いますか。(1つだけ)

1. 参加したい
2. 参加したいが、忙しいので参加できない
3. 参加したくない
4. わからない

問7. ごみのポイ捨てなどをなくすために、あなたは何が重要であると思いますか。(2つ以内)

1. 景観に配慮したまちづくりを推進し、ごみが捨てられないような街並みを整備していく。
2. 公園や空き地などの土地所有者並びに管理者が、こまめに清掃などを行いごみを捨てられないようにする。
3. 自分たちのまちは、自分たちできれいにするという意識を育てる。
4. 学校や家庭でマナーやモラルの大切さを教える。
5. ごみのポイ捨て防止の条例をつくる。
6. ごみのポイ捨て禁止について、広報紙などでPRする。
7. 区と地域(町会・自治会・商店街)が協力して地域の中からポイ捨てをなくす運動を進める
8. その他( )

問8. 区では地域(町会・自治会など)の活動に対して、手袋やごみ袋などの活動費用の一部を援助していますが(一町会あたり1万~1万5千円程度)、これらの助成金のあり方についてどのように感じますか。(1つだけ)

1. 今のままでよい
2. もっと助成すべきである
3. 助成金は必要ない
4. その他( )

問9. ごみのポイ捨てなどマナーを守らない人に対して、防止条例(罰則)をつくり、駅前などの空き缶やたばこの吸い殻などのポイ捨てを防止していく方法について、どのように思いますか。(1つだけ)

1. 条例をつくったほうがよい(問9-1へ)
2. 条例をつくらないほうがよい(問9-2へ)
3. わからない(問10へ)

問9-1. 問9の解答欄で「1. 条例をつくったほうがよい」と選んだ人にお聞きします。

その理由は何ですか。(1つだけ)

1. 悪いことは法(条例)により、防止した方がよいと思う
2. 条例をつくることにより、区民の美化意識を高められると思う
3. その他( )

問9-2. 問9の解答欄で「2. 条例をつくらないほうがよい」と選んだ人にお聞きします。

その理由は何ですか。(1つだけ)

1. ごみのポイ捨てなどは、一人ひとりのマナーやモラルの問題であり、法や規則などの規制で解決するものではないと思う
2. 条例などをつくっても結局効果があがらないと思う
3. その他( )

問10. ごみのポイ捨てについて、ご意見やご要望等がありましたら記入して下さい。(自由回答)